

令和4年度 第2回 学校運営協議会 議事録（要旨）

- 1 日 時 令和4年12月8日（木） 14：00～16：00
- 2 場 所 校長室
- 3 出席者 西村会長、藤本委員、谷口委員、山口委員、村田委員、古川委員
檜崎校長、黒田教頭、橋岡事務長、新田首席、貞廣首席
その他教員 4名

4 次 第

- (1) 開会
- (2) 会長挨拶
- (3) 授業見学
- (4) 令和4年度学校経営計画及び学校評価の進捗状況について
- (5) 令和5年度使用教科用図書の採択について
- (6) 閉会

5 協議・意見交換

<授業見学についての感想>

- ・マシンワークの授業で道具の数を2000個書き出す学習をしていたが、自分一人だけの力でなく周りに関わりながら取り組むことで、互いを知ることにつながる良い学習だと感じた。
- ・iPadのアプリを使ってプレゼンテーションの作成をしていたが、新しい機器を積極的に活用している様子が伺えて感心した。卒業後のキャリアに向けてもよい活動だと感じた。
- ・定着支援に関わっているが、学校ではどのような学習をしているか直に見ることができて、今後のカウンセリングにも役立てることができる。
- ・管内の事業所にパンフレットを配布しているが、実際に授業を見ることができてとても参考になった。宿泊業の求人が急増しているが、それに向けた内容も授業で取り組まれていて、企業へも勧めやすいと感じた。

<令和4年度「学校経営計画および学校評価の進捗状況」について>

校長より主旨説明：今年度、コロナウイルス感染が落ち着いてきたため、当初計画していた学校行事や部活動、現場実習など予定どおりに実施できている。SSWは支援学校の中で高等支援学校のみに配置されている。ヤングケアラー問題をはじめとして、家庭に課題のある生徒が増加しており、地域や行政サービスなどとなつなぐ役割を担ってもらっており、有効に活用できている。

[質問] 特になし

[討議事項]

(委員)：SSW以外にも外部人材を活用されているが、生活の支援や福祉制度の利用方法などについて生徒や保護者に対する講演などを、府の福祉担当などに依頼すれば双方にメリットがあるのではないだろうか。

(校長)：今年度は難しいかもしれないが、次年度以降検討してみたい。

<令和5年度教科用図書採択について>

(校長)：別紙一覧のとおり、令和5年度に使用する教科用図書の選定したものが、教育庁により採択さ

れた。次年度はこれらを中心に教育活動を展開していくことになる。

[質問・討議事項なし]

校長：閉会の挨拶